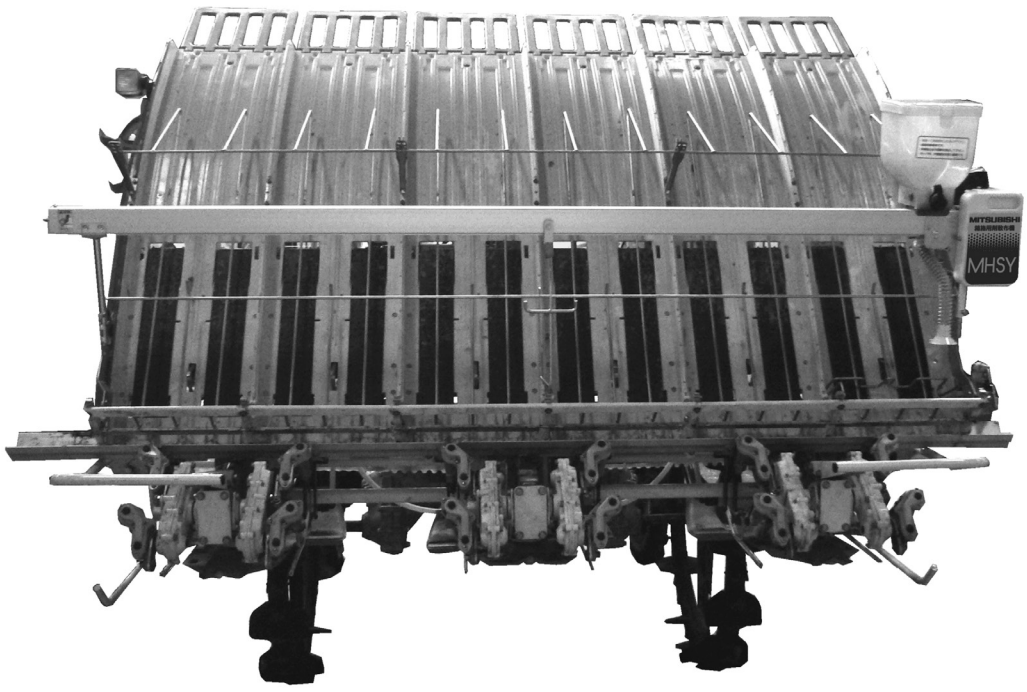
箱施用剤散布機

取扱説明書

MHSY-E4/E5/E6
E7/V8/E8



［LV6A装着例］

ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

このたびは箱施用剤散布機をお買いあげいただきありがとうございます。

●はじめに

この取扱説明書は機械の正しい取扱いかたと簡単なお手入れおよび守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

ご使用の前に田植機の取扱説明書と合わせてこの取扱説明書をよくお読みいただき，安全で快適な作業をしてください。

・お読みになった後も身近な所に保管しいつでも読めるようにしてください。
・機械を貸与または譲渡される場合は，この取扱説明書を機械といっしょにお渡しください。
・本書では，安全上重要な事項を⚠で示し，次のように表示しています。必ず守ってください。

⚠危険	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	その警告に従わなかった場合は，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	その警告に従わなかった場合は，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

・なお，この機械の品質・性能向上あるいは安全のために，使用部品を変更することがあります。その際には本書の内容およびイラストの一部が機械と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ねがいます。

●機械の使用目的について

・機械は田植機に装着して箱施用剤散布作業に使用してください。
・箱施用剤散布作業以外には使用しないでください。
・機械を使用目的以外の作業に使用したり，改造した場合には保証の対象になりません。（詳細は田植機の保証書をご覧ください。）

もくじ

安全作業のために ……1
1．安全作業のしかた…… 1
2．育苗箱施用剤の取扱いについて…… 1
3．表示ラベルについて…… 1

ご使用まえに ……2
1．保証とサービスについて…… 2
2．用語について…… 2

使用上の注意 ……3
1．育苗箱施用剤を使用する上での注意点…… 3
1．育苗箱施用剤の選定…… 3
2．一般的な注意事項（苗・圃場の設定など）… 3
3．散布後の処理…… 4
4．植付部のバランスに関する注意事項…… 4
5．散布機の重要取扱い事項…… 4

特　長 ……6
1．箱施用剤散布機の特長…… 6
2．採用型式と主要諸元…… 6

各部の名称 ……7

作業前の準備 ……8
1．基本動作の確認…… 8
2．散布量の調整…… 9
1．計量の準備…… 9
2．計量を開始…… 9
3．散布量の検証と調節の方法……10

作業のしかた ……11
1．散布（田植同時）作業の手順……11
1．苗載せ台に苗を補給……11
2．田植作業を開始……11
3．条止め時の作業……11
4．田植終了後の作業……12
5．植付部の左右バランス調整……12
2．8条の『苗載せ台折りたたみ』時の作業手順…13
1．散布装置を基準位置にセット……13
2．左の散布装置を右に載せかえ……14
3．苗載せ台折りたたみ……14

不調と処置 ……15

付　表 ……16
1．定期点検項目……16
1．作業前点検項目……16
2．毎日の使用後の手入れ……16
3．長期格納時……17
2．主な消耗部品一覧表……17
3．ブラシ，繰出しロールの交換要領……19
1．ブラシの交換要領……19
2．繰出しロールの交換要領……19

安全作業のために

1．安全作業のしかた

・安全上の重要な事項を **⚠危険** **⚠警告** **⚠注意** の３段階に分類して説明していますので，よく読んで理解し安全作業に努めてください。

・なお，この項で説明している安全説明は箱施用剤散布機についてのものです。合わせて田植機の**「安全作業のために」**もお読みください。

必ず守ってください	→ 守らないとこんな事故が！
⚠警告 傷害事故防止のために ◆箱施用剤散布機の調整，点検・整備を行うときは機械を平坦な場に置き駐車ブレーキをかけて，エンジンを停止し，電源を切り，各部の回転が止まってから行ってください。 ◆２人以上で作業を行うときは，お互いに合図しながら，運転操作を行ってください。 ◆この機械は「道路運送車両法」に適合していませんので，公道は走行できません。公道を走行するときは，自動車（トラックなど）にのせて輸送してください。	思わぬ事故を引き起こす原因になります。
⚠注意 傷害事故防止のために ◆カバー類は，全て取付けて作業を行ってください。	思わぬ事故を引き起こす原因になります。

2．育苗箱施用剤の取扱いについて

⑴ 使用する育苗箱施用剤のラベルをよく読み，使用方法，使用上の注意を確認してください。
重要 **散布量をまちがえると，薬害が生じるおそれがあります。**

⑵ 育苗箱施用剤は，安全な場所に保管し，運搬時に袋が破れないように取り扱ってください。

⑶ 育苗箱施用剤の取り扱いには十分注意し，万一目や口に入った場合は，直ぐに水で洗い流してください。
体調に異常を感じたら直ちに医師の診断を受けてください。

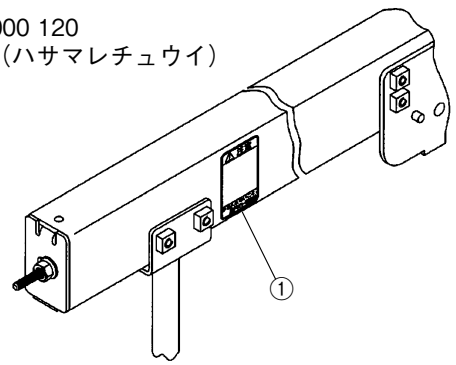
⑷ ホッパに残った育苗箱施用剤は，全部取り出し，元の容器または，袋に戻して幼児の手の届かない所に保管してください。

3．表示ラベルについて

この機械には，安全な取扱いかたについて説明している**「表示ラベル（警告ラベル）」**が貼付けてあります。ラベルの説明をよくお読みいただき守ってください。ラベルが破損した場合は**「お買いあげ先」**に注文して貼替えてください。

①品番　9983 0000 120
品番　ラベル（ハサマレチュウイ）



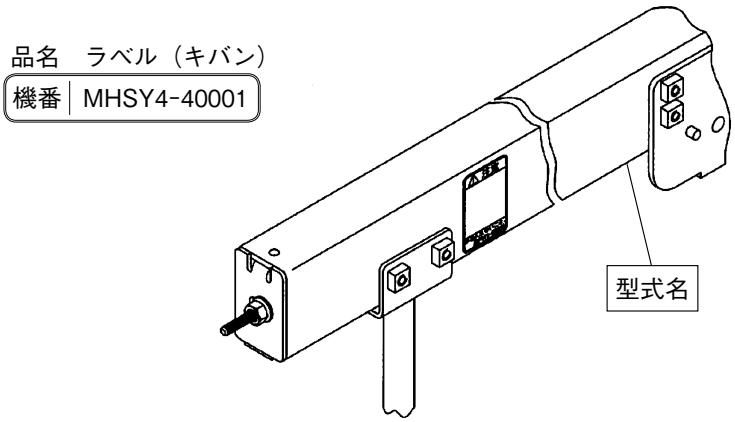


ご使用まえに

1．保証とサービスについて

・この機械の保証は装着田植機の保証書で行います。ただし，この機械の保証期間はお買い上げ後１年となります。ご使用のまえによくお読みください。

・この機械のサービスについてのお問い合わせや部品などのご用命のときは**「お買いあげ先」**にご相談ください。その際**「型式名」・「機械番号（製造番号）」**をお知らせください。



・補修部品の供給年限について

・この製品の補修用部品の供給年限（期間）は，製造打ち切り後９年といたします。
ただし，供給年限内であっても特殊部品の納期などにつきましてはご相談させていただく場合もあります。

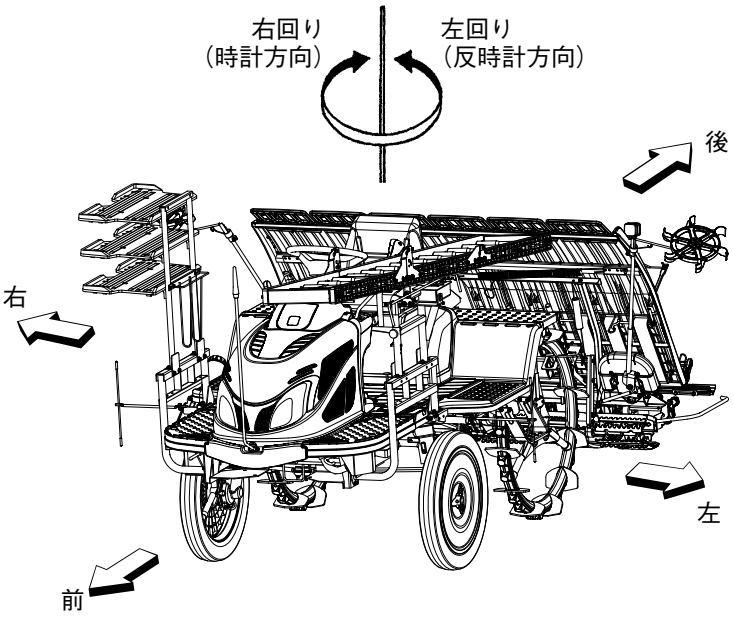
・補修用品の供給は，原則的には，上記の供給年限で終了いたしますが，供給年限経過後であっても，部品供給のご要請があった場合には，納期および価格についてご相談させていただきます。

2．用語について

⑴　この取扱説明書に使用している**「前後・左右・右回り・左回り」**などの用語は，図示のとおりです。

⑵　マークの説明

取扱いのポイント　…機械の機能・性能上に関する説明です。守らないと故障の原因になったり，性能を十分発揮できないことがあります。



使用上の注意

1．育苗箱施用剤を使用する上での注意点

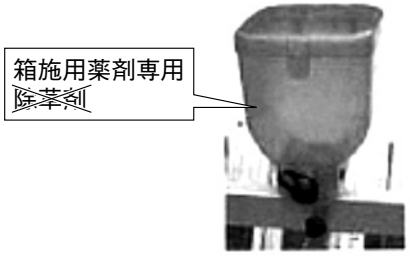
重要 **取扱いを間違えると薬害にもつながりますので十分理解してください。**

1．育苗箱施用剤の選定

⑴ 箱施用剤に限定して使用してください。

”絶対に除草剤を誤用しないこと”

除草剤を誤用すると苗枯れの原因になります。



⑵ 田植えと同時に散布できる育苗箱施用剤の中でも，圃場条件（ガスが発生した田や，漏水田，黒墨土壌砂壌土の水田など）によっては使用できない育苗箱施用剤があるので，ご注意ください。

⑶ 育苗箱施用剤の選定にあたっては，圃場や気象の条件が地域によって適正が異なりますので最寄の指導機関に相談頂くか，都道府県の指導方針に従ってください。

⑷ 箱施用剤散布機での散布に適した箱施用剤をご使用ください。

「適合性の基準」硬く，崩れにくく，吸湿しにくい薬剤

2．一般的な注意事項（苗・圃場の設定など）

⑴ 健苗を使用し，軟弱苗などは避けてください。

⑵ 田面を均平に整地し，田面が水面上に出ている所を無くしてください。

⑶ 圃場表面は硬くなり過ぎないようにしてください。（泥を指でかいてみて跡が少しふさがる程度が適当です）

⑷ 浮き苗，浅植えにならないように適正な植付け深さを守ってください。

⑸ 処理苗を水田に移植した後は，そのまま湛水状態（湛水深３～５㎝）を保ち，稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理してください。

また，水を落とさないよう漏水に注意し，掛け流しは避けてください。

⑹ 稲苗の葉が濡れていると，育苗箱施用剤が付着し薬害を生じる場合があるので，散布直前のかん水は避けてください。

もし苗が乾いた場合には，苗の根元に水を掛けてください。



⑺ 残り苗を圃場に残す場合は，育苗箱施用剤を散布していない苗があると，病気や害虫発生の原因になる可能性があります。

圃場に苗を入れるときは育苗箱施用剤を先に散布してください。

3．散布後の処理

適正な育苗箱施用剤を使用して適性に散布しても，その後の管理によって薬害が出る可能性があります。育苗箱施用剤の袋に記載されている水田の管理事項は必ずお守りください。

4．植付部のバランスに関する注意事項

箱施用剤散布機を装着すると，植付部のバランスが少し右下がりになる場合があります。４条は予め右側のスプリングを上穴に掛け換えて御使用ください。５～８条は水平調整ボリュームで調節してください。

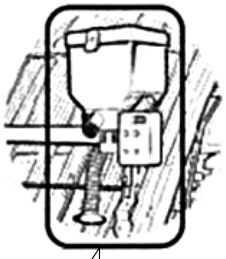
5．散布機の重要取扱い事項

操作要領の各ページの手順，注意事項をよく読み安全作業を心がけてください。特に次の項目は大きなトラブルにつながりますので，十分注意してください。

⑴ ホッパ内，散布部の水洗いは避けてください。防水性重視の仕様にはしていますが，直接，勢いよく水を掛けるのは避けてください。田植機を洗車する場合は，右図をビニール袋などで被ってください。



水洗い厳禁



洗車時は袋で被う

⑵ 薬剤の補給／排出に関する注意

☆補給前には必ずホッパの排出プラグを止めてください。

☆補給後はホッパのフタを確実に閉めてください。

☆作業終了後は，薬剤の固着を予防するため，次の手順で，繰出し部まで薬剤を確実に排出してください。

① ホッパ内の薬剤を排出口から抜く。

② 散布機を少し空回しして繰出し部の薬剤を抜く。

☆ホッパに薬剤を入れた状態で路上走行しないでください。短距離の移動でもホッパ内の薬剤は抜いた方が安心です。

※振動で薬剤が圧縮されたり，粉化して，詰まりや散布不良の原因となる事があります。



☆作業後は薬を抜く
☆輸送・移動時は薬を抜く

↓

作業後は更に空回しして
繰出部の薬も抜く

⑶ エンジンの充電能力に関する注意

本作業機を使用するとバッテリが消耗しやすいので次の取扱いを守ってください。

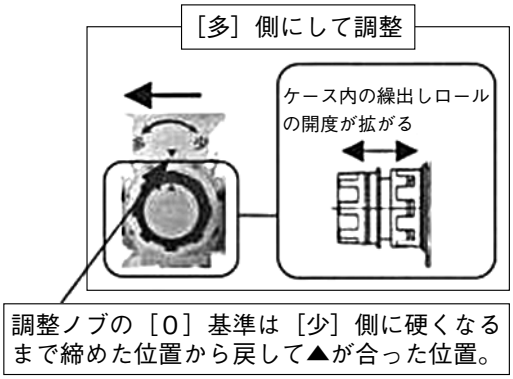
① 植付作業中はエンジン回転を必ず「**作業範囲**」に設定し作業してください。

② 点検時にはバッテリの容量低下に注意してください。

⑷ 計量作業に関する注意

ノブを「**多**」側へ回す方向で調量してください。量を少なくする場合も，一度多めに「**少**」側に戻してから再度，「**多**」方向に回して調量する。

【注意】締め込み過ぎると散布機の横スライド時に抵抗が増え非常停止が掛かる可能性があります。



使用上の注意

⑸ 雨天時の注意

雨天時は，**濡れた葉に育苗箱施用剤が付着し床土に散布できない場合がありますので散布状態を確認し，雨が強くて，葉への付着が多い場合は使用を中止してください。**

また育苗箱施用剤が濡れると散布不良の原因となります。補給や排出時にホッパ内や育苗箱施用剤を濡らさないよう注意してください。

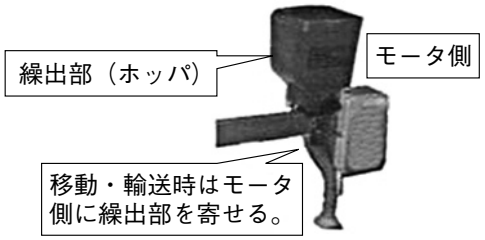
⑹ 非常停止制御について（MHSY－E5／E6／E7／V8／E8のみ）

散布機のモータやセンサの動作に異常が生じた場合は，警報を知らせて非常停止が働く制御となっています。不調と処置のページ（P15）を良くお読みください。

※チェーンの張りなどP16の内容を定期点検すれば，非常停止しにくくなります。

⑺ 移動・輸送時の注意

故障・損傷の原因ともなりますので，移動・輸送時は次の取扱いを守ってください。



① 移動・輸送する前に，繰出し部（ホッパ）をモータ側に寄せてください。

② 育苗箱施用剤は全て取り出しホッパのふたを確実に閉めてください。

③ 散布機の各部品へのロープ掛けは避けてください。

※MHSY－E7/V8/E8は左右の繰出し部共モータ側に寄せてください。（P13参照）

※MHSY－E7は左散布装置の載せ替えは不要です。

④ 外したコネクタ部を袋で覆ってください。

重要 **☆取扱いを間違えると部品の破損につながりますので注意してください。**

☆長距離輸送時は，散布装置本体を苗載せ台から降ろしてください。

特　　長

1．箱施用剤散布機の特長

⑴　田植えと同時に苗に散布できるので，忙しい農繁期の省力化がはかれます。

⑵　大容量ホッパで能率良く作業できます。作業後の残量排出も楽に出来ます。

⑶　高精度の散布であり，また実際に使う苗にだけ散布するので，育苗箱施用剤の使用量を最低限に出来て経済的です。

⑷　繰出し量が調整式ですから，幅広い育苗箱施用剤に適応出来ます。

2．採用型式と主要諸元

条　数	型　式　名	適　応　機　種　（田植機）
4条	MHSY－E4	LV4（粒状仕様のみ），LE4
5条	MHSY－E5	LV5/5A/5AN，LE5/50
6条	MHSY－E6	LV6/6A/6AN/63/63A，LE60(D)
7条	MHSY－E7	LE70D
8条	MHSY－V8	LV8/8A・LV8D/8AD
	MHSY－E8	LV8/8A・LV8D/8AD・LE80D
※W仕様装着不可		

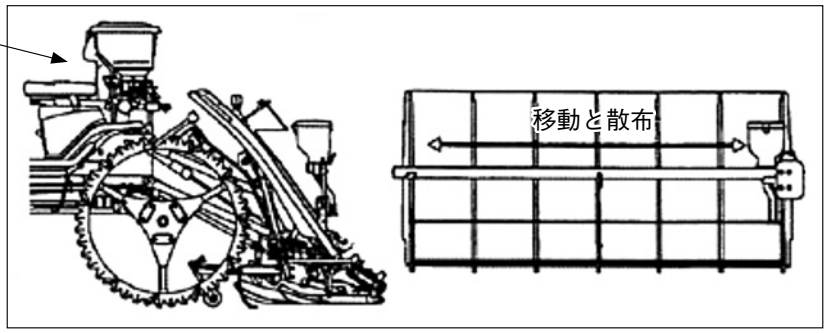
※薬剤散布機（MPSR）との共着は行わないでください。

※５条以上では14cm以下の株間での使用はご遠慮ください。

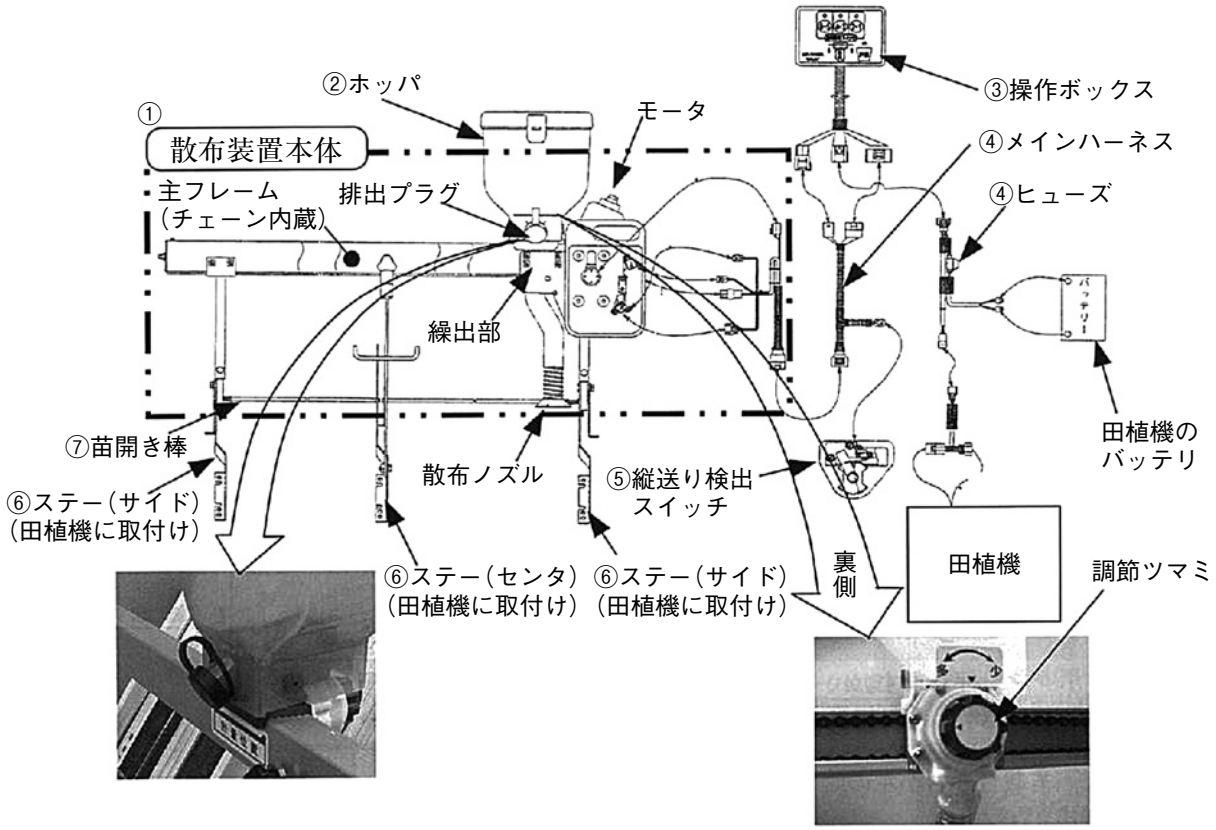
（車速に散布が追従しない，または，バッテリ上がりの可能性があります）

	4条	5条	6条	7条	8条
薬　剤　の　種　類	水稲育苗箱施用剤				
散　布　方　法	横スライド散布方式（縦送り連動）				
繰り出し方式	溝付きロール方式				
繰出し調整方式	ロール横幅スライド式				
動　力	バッテリ電源によるモータ駆動				
ホッパ容量	3.5L			7L（3.5×2）	
各条停止	受け皿	切替スイッチ方式			
全高×縦幅（mm）	500×250				
横　幅（mm）	1415	1715	2015	2310	2610
質　量（kg）	8.5	12.5	13	20.5	

各部の名称



散布装置の装着状態



●各装置の名称と働き

	名　　称	装置の構成と働き
①	散布装置本体	「繰出部」「散布ノズル」「モータ」「主フレーム」などをアッセンブリしています。(７条，８条は２個使います)「繰出部」の前後面に「調節ツマミ」と「排出プラグ」があります。
②	ホッパ	育苗箱施用剤を補給する容器です。3.5L入ります。
③	操作ボックス（４条は無し）	散布量の計量，各条停止の切替を行うボックスです。
④	メインハーネス	各装置，及び田植機本体のバッテリを接続します。４条，５条，６条，が15A，７条，８条が25Aのヒューズを途中に設けています。
⑤	縦送り検出スイッチ	苗のせ台の縦送りベルトの回転を検出します。
⑥	ステー	散布機本体を苗載台に取り付けるステーです。
⑦	苗開き棒	散布時に苗を上下に開き育苗箱施用剤を床土に散布するための棒です。

●付属品

⑴　計量カップ……散布量の確認時に使います。

⑵　各条停止用受け皿（４条のみ）……「植付条止め」時に使います。

作業前の準備

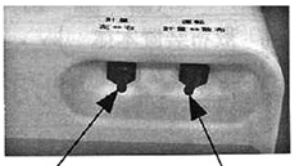
1．基本動作の確認

1．田植機へ『箱施用剤散布機』を組み付ける。
　取付要領書を参照して取り付けてください。
2．散布機のスライド動作を確認する。
　「標準モード」から**「手動モード」**に切り替えて，基本動作が正常か確認します。
　⑴　田植機のキースイッチをＯＮにします。
　⑵　下記手順でスライド動作を確認します。



『４条・・・・・MHSY－E4』

①　運転スイッチを計量側にします。
②　計量スイッチを左右どちらかに倒すと，繰出し部がスライドします。



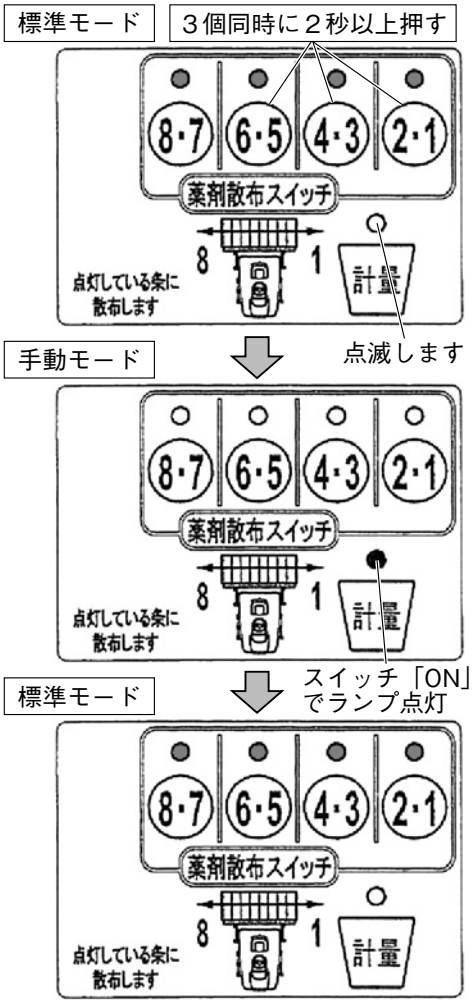
『５～８条・・・・MHSY－E5／E6／E7／V8／E8』

※図は８条の操作ボックスの表示ですが，５・６・７条も操作方法は同じです。

①　［６・５］［４・３］［２・１］の各条ボタンを，同時に２秒以上長押しします。
　各条ランプが全て消灯し，計量ランプが点滅します。
　この状態が**「手動モード」**です。

②　**［計量］**ボタンを押します。
　計量ランプが点滅から点灯に変わって，繰出し部が横にスライドします。繰出し部が苗載台の右か左の端まで来ると自動的に止まります。
　※停止後，**［計量ボタン］**を押すと再びスライドを始めます。
　※スライド途中に**［計量ボタン］**を押すと，その位置で一時停止します。再び**［計量ボタン］**を押すとスライドが再開します。

③　［８・７］～［２・１］の何れかのボタンを押すと，**［手動モード］**が解除されます。



【備考】

標準モードでは，田植機本体の植付部を駆動しないと散布装置はスライドしません。
（苗載せ台のベルトが数回縦送りしてからスライドします。）

2. 散布量の調整

重要 **☆植付部を上昇させ，主変速レバー，副変速レバーを「N」(中立）にし，駐車ブレーキを掛けてから計量を行ってください。**

☆適正な散布量は，育苗箱施用剤の袋に基準値が記載されています。

※50ｇ/「苗１箱」が主流です。薬剤に「苗１箱」分の計量箱がついている場合もあります。

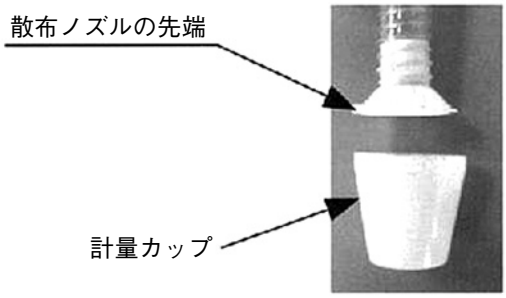
☆繰出量の設定は育苗箱施用剤の種類により大幅に変わります。使用前には必ず計量を行い，適正な繰出量を設定してください。

1. 計量の準備

⑴ 付属の計量カップを散布ノズルの先端に取り付けます。
※ホース口とカップの切り欠きを合わせて差し込んでからカップをねじり，抜け止めをします。

⑵ ホッパのフタを空けて，薬剤を入れフタを閉じます。

⑶ 田植機のエンジンを始動させます。



2. 計量を開始

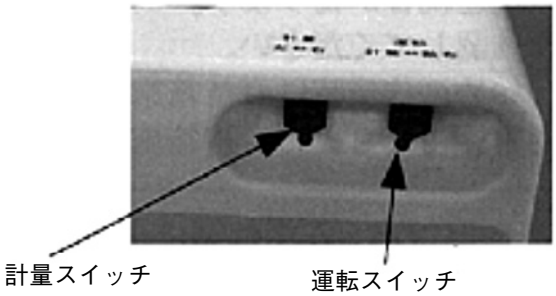
『４条・・・・MHSY－E4』

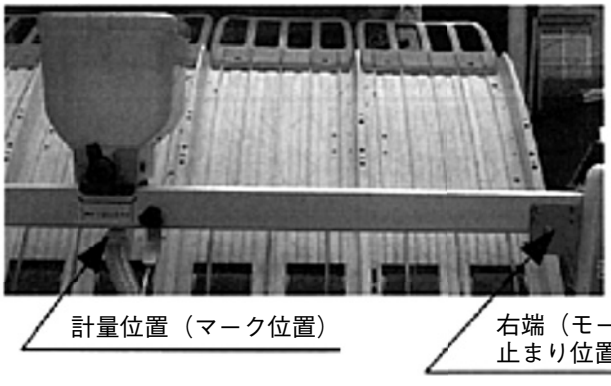
① モータカバー正面の運転スイッチを［計量］にします。

② 計量スイッチを左に押し続けて，散布装置を右下図の右端から計量位置まで動かします。

③ 次に，計量スイッチを右に押し続けて，散布装置を右端まで戻します。

④ 上記の②③を繰り返し，合計２往復すれば計量終了です。

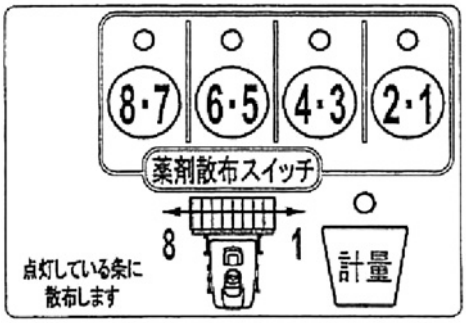




『５～８条・・・・MHSY－E5／E6／E7／V8／E8』

① 操作ボックスの『計量』ボタンを一度押します。
操作ボックスの計量ランプが点滅して，散布装置が動き出します。

② 散布装置が２条分２往復すると，ピッ，ピッ，ピッと音が鳴って自動的にスライドが停止し，計量を終えます。
それと同時に計量ランプが消灯します。

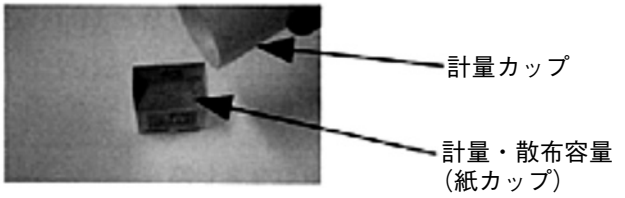


3．散布量の検証と調節の方法

⑴　計量カップを外し，溜まっている量が適正か検証してください。

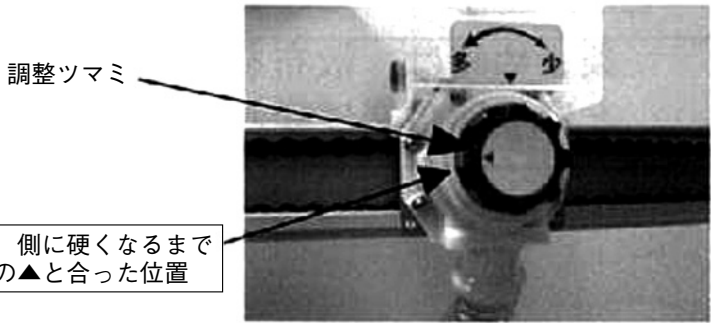
※育苗箱施用剤の適量×0.8の重量が適正値です。

例：50ｇ/「苗１箱」の場合，計量操作後計量カップに約40ｇの薬剤が溜まっていれば適正量です。



⑵　散布量を変更するときは，繰出部の調節ツマミをラベルの［**多**］［**少**］を参照して回します。

※調節ツマミを１回転すると，散布量が測定時から約20％変わります。



調整ノブの［0］基準は，［少］側に硬くなるまで締めた位置から戻してラベルの▲と合った位置

作業のしかた

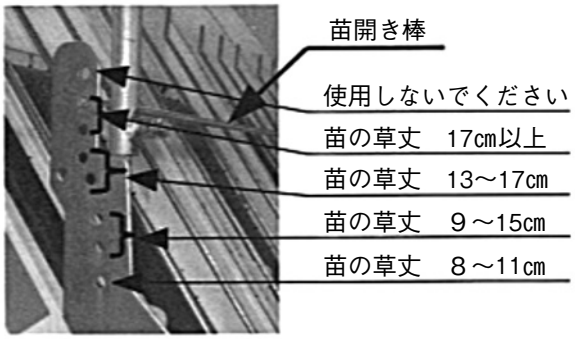
1．散布（田植同時）作業の手順

1．苗載せ台に苗を補給

⑴　苗の長さ（床土から上の長さ）に合わせて，苗開き棒の位置を調整します。

⑵　苗載せ台を端寄せし，苗を全条補給します。

⑶　初回補給時は，苗の区分けされた位置より下にある苗に育苗箱施用剤を散布してください。



※MHSY－V8では上２穴使用不可

重要　**☆右図の位置はあくまで参考値です。**
散布口の下の床土が見えるくらい開いて苗を押さえ過ぎない位置が基準です。

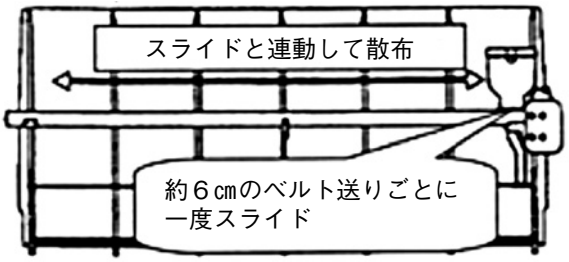
☆併せて苗おさえ,苗ささえ(苗ホルダ)も適正な状態か確認下さい。(田植機本体の取扱説明書参照)

2．田植作業を開始

⑴　植付部を駆動すると自動的に次の動作で散布します。

①　苗載せ台のベルトが数回縦送りすると散布装置がスライドして散布。

②　散布装置が苗載せ台の反対側まで来ると自動的に停止。後は，この①②の繰り返しです。



補足　・散布時には，散布している事を知らせる「**ピー**」という連続音が鳴ります。
・念のため何回か散布装置が作動した後，散布状態を確認してください。
・苗の状態により散布量がバラツクことがあります。始めの作業時に育苗箱施用剤の使用量と苗の使用量を確認してください。（基準量は，通常，苗20枚で育苗箱施用剤１kg）

3．条止め時の作業

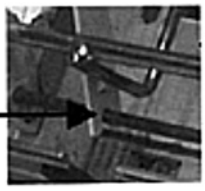
⑴　田植機本体の『**条止め**』を使用するときは，次の操作を行ってください。

重要　**☆最右側の条を条止めした場合には散布を行いません。**
最右側の条を条止めした場合にも散布したいときは，MHSY-JT（別売）が必要になります。

『**４条・・・・MHSY－E4**』

①　『**条止めレバー**』で植付けを止める条に，付属品の受け皿をセットします。
振動などで脱落しないよう確実に固定してください。

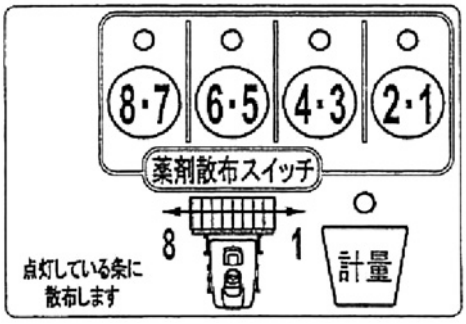
②　『**条止めレバー**』を解除したときは，必ず受け皿を外してください。





『５～８条・・・・MHSY－E5／E6／E7／V8／E8』

操作ボックスの［１・２］～［７・８］で条止め位置を選択します。ボタンを押して止めたい条のランプを消灯すると次回の繰出し行程から，横スライドをその条だけ省略します。



重要 ☆『７条・・・・MHSY－E7』

操作ボックスの［６・７］で条止めをした際には，６条目にも薬剤を散布します。［5］，［６・７］で条止めをして植付けをするか，条止めを行わず，植付けが重なる部分はまくらっこで均しながら植付けをしてください。

補足 ・条止め時は，散布を知らせるブザー音が「**ピッー・ピッー**」という間欠音に変わります。

４．田植え終了後の作業

⑴ 残り苗は苗おさえを取り外して取り出してください。

⑵ 残った苗を圃場に入れるときは，育苗箱施用剤を軽量カップを使い手で散布してください。

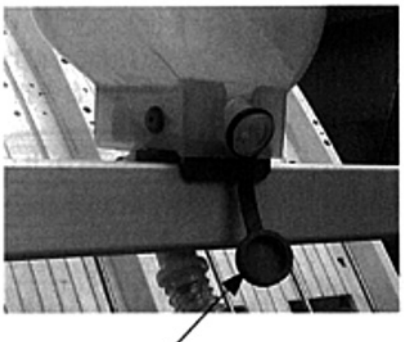
重要 ☆**育苗箱施用剤を散布しない残りの苗は病気や害虫発生の原因になる場合があります。**

⑶ ホッパに残った育苗箱施用剤は次の手順で全て排出してください。

① 排出プラグを抜いて，育苗箱施用剤を排出します。

② 排出プラグを差し込み，散布装置を軽量動作させ，繰出し部の育苗箱施用剤も全て排出します。

重要 ☆**完全に排出しないと，繰出し部のロールに育苗箱施用剤が固着して次回使用時の散布不良につながります。**



５．植付部の左右バランス調整

『４条・・・・MHSY－E4』

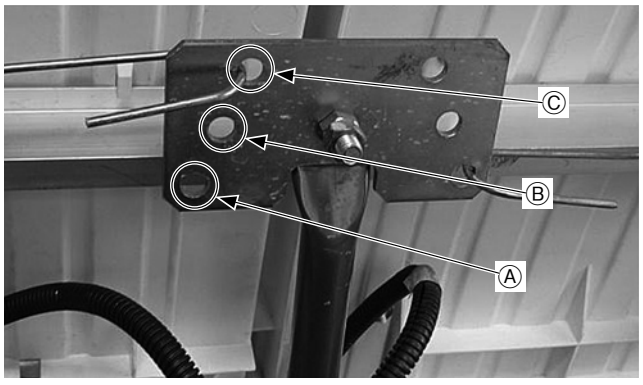
⑴ 右側の水平スプリングを掛け換えてください。

※本作業機を装着すると植付け部右側が重くなります。

① 穴Ⓐに掛かっているスプリングを穴Ⓒに掛け換えてください。

※作業時のホッパ投入薬剤量

ホッパは薬剤が３袋投入可能な容量がありますが，水平バランス上，植付作業時は薬剤の投入量を２袋以下で行ってください。

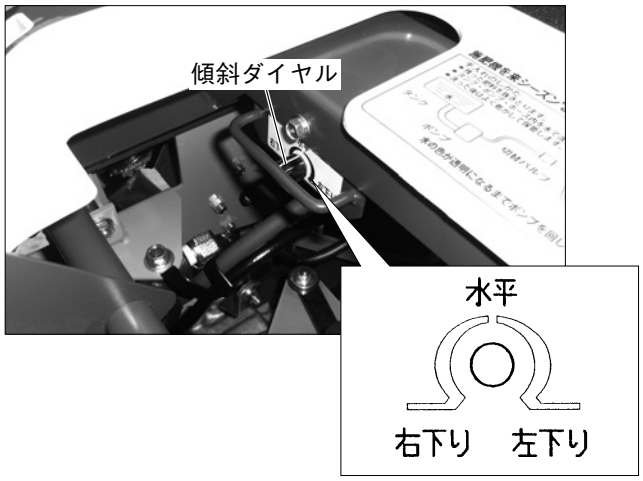


『５～８条・・・・MHSY－E5／E6／E7／V8／E8』

⑴　傾斜ダイヤルを回して植付部の傾きを水平になるよう調整してください。

※本作業機を装着すると植付け部右側が重くなります。

補足　・田植機型式により傾斜ダイヤルは別売品となります。



2．８条の『苗載せ台折りたたみ』時の作業手順

☆この操作内容は８条「MHSY－V8/E8」だけに適応します。

☆田植機を輸送や格納するときに，苗載せ台の左１条を折りたたむ作業に対応する操作方法です。

１．散布装置を基準位置にセット

次の手順で散布装置の位置を，基準位置（最左と最右）に移動します。

①　操作ボックスの［８・７］～［２・１］のボタンを１個づつ押しランプを全て消灯します。（図１）

②　計量ボタンを押します。（図２）

計量ランプが点灯し，図３のように散布装置が左右の端まで動き停止します。

この位置が，苗載せ台を折りたたむときの基準位置となります。

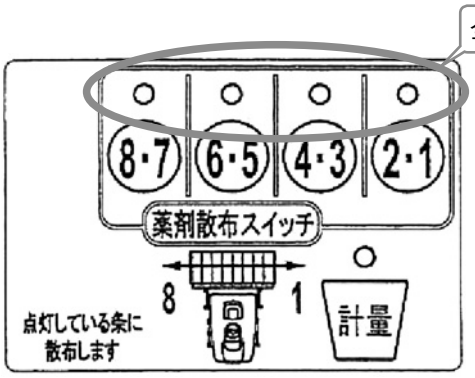


図１

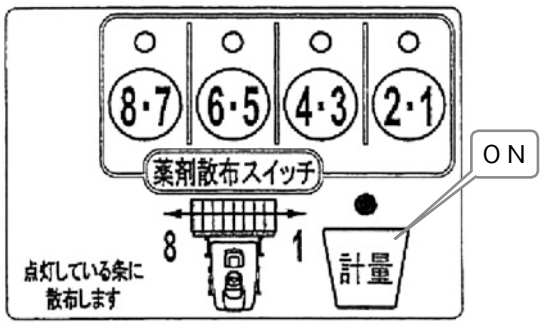


図２

重要　**☆基準位置にセットせずに，折りたたみ作業をすると故障の原因となります。**

☆必ず基準位置にセットしてください。

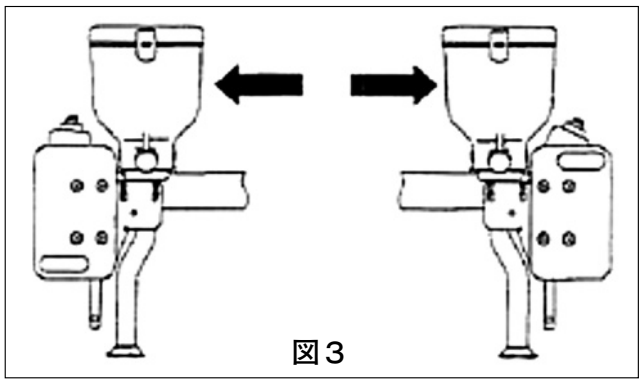


図３

2. 左の散布装置を右に載せかえ

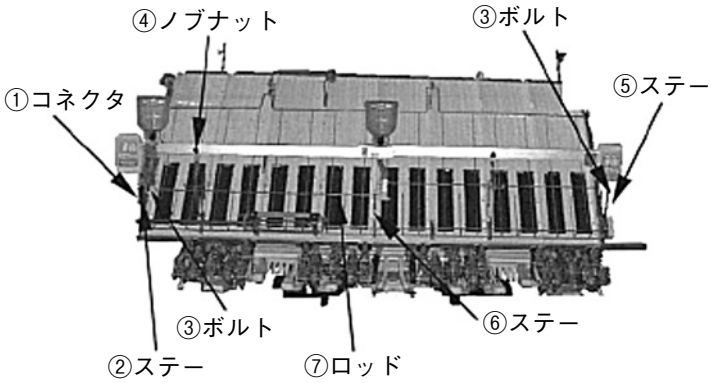
⑴ 左側の散布機の①コネクタを１箇所外してください。

⑵ ②ステーの③ボルトを緩めて，④ノブナットを外してください。

⑶ 左の散布機を取り外し，右側散布機後方の⑤ステーと⑥ステーに差し込み，③ボルトで固定してください。

⑷ ⑦ロッドを外してください。

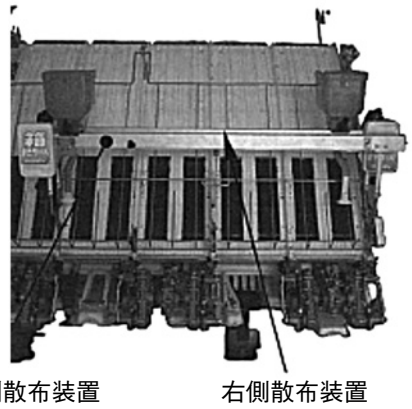
以上の作業後に苗載せ台を折りたたんでください。



3. 苗載せ台折りたたみ

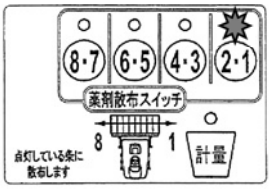
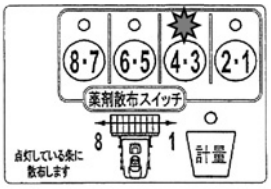
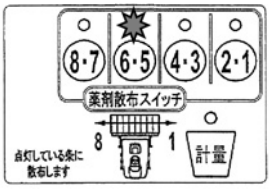
田植機本体のラベル，及び取扱説明書を参照して苗載せ台左１条を格納します。

重要 **☆田植作業をするときは，必ず上記で作業した箇所は元に戻し，確実に固定してください**



不調と処置

・動かなくなった場合下記のことが考えられます。

原　　因	処　　置	操作ボックス　　表示ランプ （５・６・７・８条のみ）
・バッテリの電圧低下や，散布装置のスライド抵抗の増加により，横スライドが30秒で端まで到達しない状態になった事により非常停止しています。	・バッテリの電圧低下の場合は，充電やバッテリ交換をしてください。 ・スライドの動きが遅い場合は，スライドへの泥の付着やグリス切れなどを確認し，清掃してください。 関連部品が痛んでいる場合は交換してください。	例：８条 エラー１発生時 
・モータ部のロックや，縦送り検出スイッチ部の信号異常により非常停止しています。	・モータがロックした場合は，下記などを確認，解消してください。 ※繰出し部，スライド部への異物の噛み込み ※繰出しロールへの薬剤の固着 ※スライドチェーンの張り状態，上記メンテナンスで直らないときは縦送り検出スイッチ部が故障している可能性があります。 販売店に点検を依頼してください。	例：８条 エラー２発生時 
・フレーム右側のチェーン上下にあるリミットスイッチが，繰出し部がスライドをしているときに，誤って反応をしたために非常停止しています。 ※通常は端までスライドして初めて反応します。	・リミットスイッチが損傷や位置ずれなどを起こし，作動が不安定になっている可能性があります。販売店に点検を依頼してください。	例：８条 エラー３発生時 

［５・６・７・８条のみ］

⑴　作業中にセンサ・モータ類の動作状態に異常を感知したときに故障を防止するためのエラー警報を装備しています。

⑵　報知ブザー音は「**ピー・ピッ・ピー・ピッ・……**」の反復です。

⑶　警報が作動したときは，必ず，計量，および散布作業を中断し，エラー表示の内容に従い問題を解消してから作業を再開してください。

もし問題が解消しないときは購入された販売店で点検を受けてください。

⑷　エラー表示はランプの点滅位置で３種類に区分しています。（上図）

※８条用の図を使用していますが，５・６・７条も同じです。

⑸　警報のリセット方法

田植機本体のキースイッチをOFFにするとリセットされます。

※問題が解決されていないのに，何度もリセットして動かすのは避けてください。

付　　表

1．定期点検項目

⚠注意 ◆各部を点検するときは，安全上，必ずエンジンを先に停止してください。

1．作業前点検項目

❶　田植機の点検

●田植機の取扱説明書に従って点検してください。

●特にバッテリが弱っている場合は散布時に非常停止が働く原因となりますから必ず充電してから作業を始めてください。

重要 **☆バッテリが弱っていると散布機は満足な動きをしません。**

❷　散布機の点検

●散布機各部や，田植機との固定部に緩みや変形などが発生していないか確認をしてください。

●田植機のキースイッチをＯＮにして，散布機の操作ボックスの［８・７］～［２・１］のランプが点灯するか確認してください。

※もし田植機は問題無いのに散布機のランプが点灯しない場合は，散布機のメインハーネスのヒューズを確認してください。

MHSY－E4／E5／E6：15Ａ，MHSY－E7／V8／E8：25Ａのヒューズ

●ホッパ内，繰出し部，散布ノズルが濡れていないか点検してください。

もし，濡れている場合は充分に乾燥させてください。

また，万一ホッパ内や繰出し部に前回使用時の薬剤が残っていたときは全て取り出し，繰出し部に残っている薬剤もきれいに取り除いてください。

2．毎日の使用後の手入れ

●ホッパ内，及び繰出し部に残った薬剤は，毎日完全に排出してください。

※ホッパ内の薬剤を排出後，計量動作で繰出し部まで確実に排出してください。

●洗車時は，ホッパ内部に水が入らないよう充分注意し，また各部品に高圧洗浄機の水が当たらないように注意してください。

●ホッパ内，繰出し部，散布ノズルが濡れていないか点検してください。

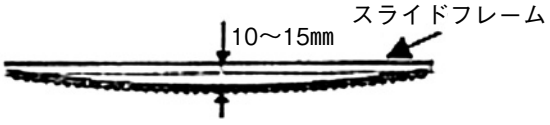
もし，濡れている場合は充分に乾燥させてください。

●散布機の各部に泥が付着しているときはきれいに拭き取ってください。

●チェーンは，ホッパをモータ側に寄せ，たるみを右図の範囲に調整してください。

●ホッパスライド部のレール上はきれいに清掃してください。

[張り代の調整基準]
チェーン中央部でフレーム上面から10～15㎜
※フレーム左側の張り金具のナット位置で調整する。

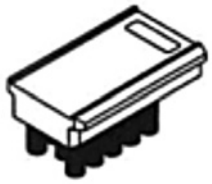
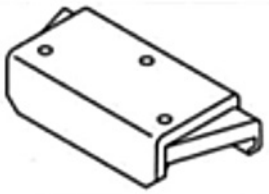


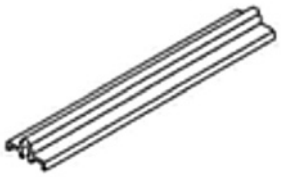
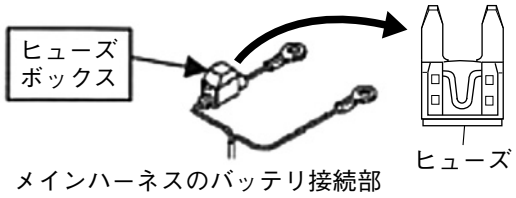
3. 長期格納時

●毎日の手入れと同じ項目を行い，充分乾燥させてから保管してください。
●チェーン部のグリスが減っているときは，塗布にて補充してください。また，各部に錆や傷が発生しているときは，修繕して腐食を防ぐよう塗布してください。
●田植機の取扱説明書も良く読み，安全注意を守った上で田植機本体も丁寧に点検し保管してください。

2. 主な消耗部品一覧表

消耗部品を下表に示しますので，常に機械を点検して，部品に亀裂，ひび割れ，摩耗などの損傷が認められる場合は，販売店でお買い求めの上，交換してください。

品　番	品　名	部品形状
９９８８００００８０	ブラシ	
９９８３００００７０	プレート（ガイド）	
９９８３００００６０	ロール（ツメ）	
９９８３００００５０	ロール（ベアリング）	
９９８３００００２０	スライダ	

品　　番	品　　名	部 品 形 状
９９８３００００４０	シュー	
９９８３００００３０ ９９８３００００１００ ９９８３００００１１０	レール（チェーン）	
MHSY－E4／E5／E6： 市販の15Aヒューズ MHSY－E7／V8／E8： 市販の25Aヒューズ	ヒューズ	

重要 **☆使用薬剤によっては，早期にブラシの摩耗や，ロールへの薬剤付着が発生する場合があります。安心して使って頂くために，次の取扱いが重要です。**

①　定期的に繰出し量や，ロール，ブラシの状態を確認する。

※一般的には，薬剤50kg以上繰出した場合は，一度，点検するよう推奨致します。

②　薬剤の付着やブラシの摩耗が多く，再調整しても，繰出し状態が改善されない場合は，次項の手順で，ブラシ，ロールをメンテナンスしてください。

補足 特に付着しやすい薬剤での薬剤付着緩和の目的で，次頁の特殊ブラシも採用しています。必要に応じて交換ください。（スタークル系の薬剤などが対象）

９９８３００００９０：ブラシアッシ（ソフトタイプ）…適用型式MHSY－E4／E5／E6／E7／V8／E8

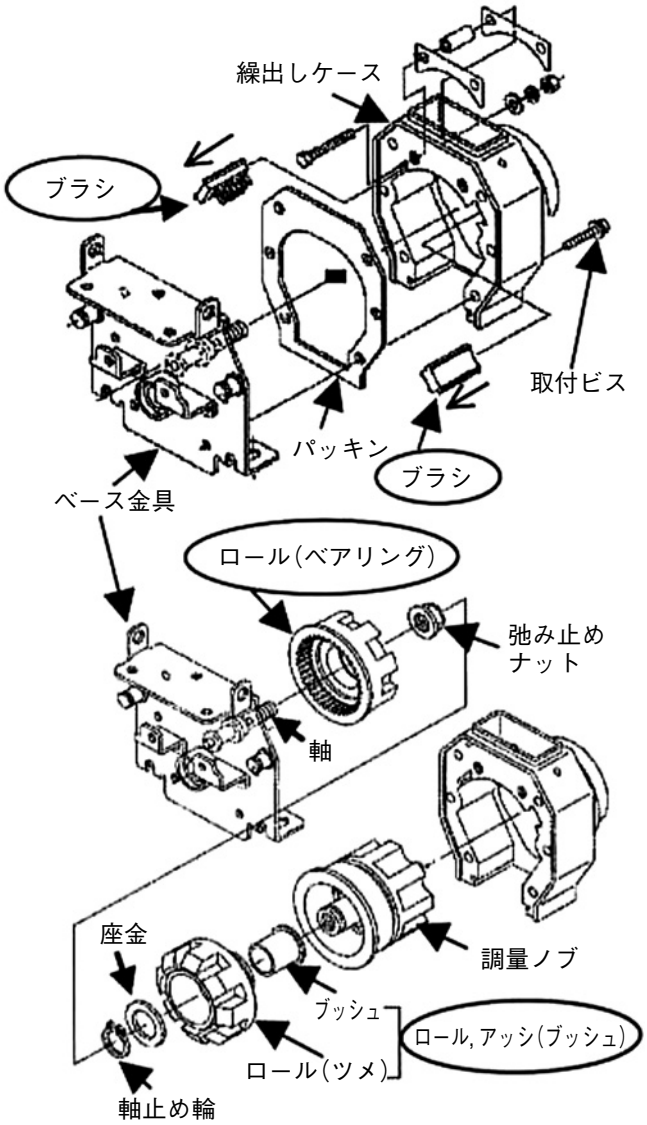
3．ブラシ，繰出しロールの交換要領

1．ブラシの交換要領

① 繰出しケースは取付ビス６本を弛めてベース金具から取り外す。
　※ケースにパッキンが接着された状態で外れます。
② ケースからブラシを矢印方向に取外す。
③ 交換用のブラシを取付ける。

重要 **☆ブラシの取外し時にパッキンがめくれた場合は，接着剤を塗布してからケースを組付けてください。(防水性を守るため)**

④ 繰出しケースを取付ビス６本で元通りに組付けします。



2．繰出しロールの交換要領

① 繰出しケースは取付ビス６本を抜いてベース金具から取外す（上記①と同じ手順）
② 調量ノブを弛めて外す。
　※ロール（ツメ）はノブに止め輪で固定されているので一体で外れます。
③ 止め輪を外して，ロール（ツメ）を，調量ノブから分離します。
④ ロール（ベアリング）は，弛み止めナットを弛めて，ベース金具の軸から取外します。
⑤ 交換用のロール（ベアリング）を軸に挿入し，弛み止めナットで固定します。

重要 **☆ナットは奥まで締めた後で，１／４回転くらい弛めてください。**
締め過ぎた状態では，回転が重くなり繰出し部のスライド不良が発生します。

⑥ 交換用のロール（ツメ）（ブッシュ組込みあり）は，調量ノブに座金と止め輪で固定します。
⑦ ロール（ツメ）を組込んだ調量ノブを，ベース金具の軸に組付けます。
⑧ 繰出しケースを取付ビス６本で元通り組付けます。

補足 ケースを外した状態で，ロールを外さずに，ロールの表面や溝を掃除する事もできます。その場合は，ロール表面を荒らさないよう堅い物でこするような掃除は避けてください。
※薬剤が固着した場合は、温湯を浸した布でふき取ると剥がれやすい場合もあります。このときはロール表面が十分に乾いたことを確認した後に組付けてください。

お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは，下記の点を明確にして，お買いあげ先へお問合わせください。

●ご使用機の型式と機械番号（製造番号）は…？

型 式 名

機械番号（製造番号）

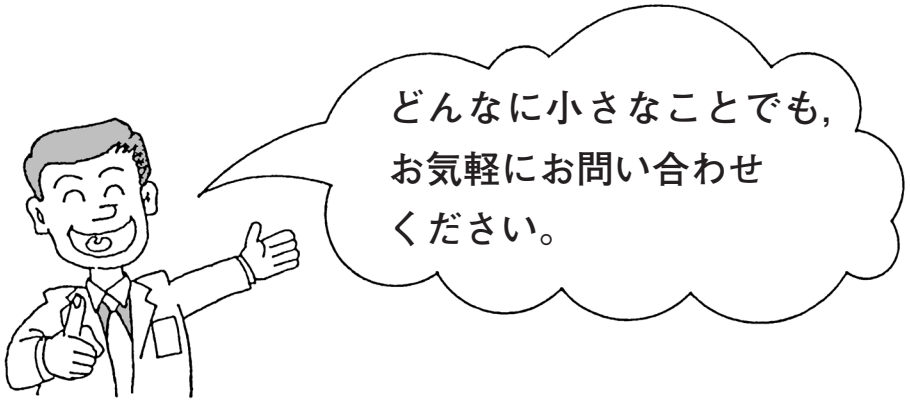
●ご使用状況は…？

（何速で，どんな作業のとき）

●どのくらい使用されましたか？

（約 ＿＿＿＿ アール使用後）

●トラブルが発生したときの状況を，できるだけ詳しくお教えください。



（ご相談窓口）お買いあげ先

ＴＥＬ　　（　　）

No.041710-26858495003